

# 『PCA 法定調書シリーズ』 リビジョンアップに伴う機能変更について

KDH220701

本紙では、『PCA 法定調書シリーズ』のバージョン 1.0、リビジョン 6.05 のプログラムでの仕様変更点をまとめております。

操作方法などの詳細につきましては、ヘルプをご覧ください。

※旧製品からの変更点ではありませんのでご注意ください。

## ◇ 不動産の使用料等の明細入力に対応

「不動産の使用料等の支払」処理を新規追加しました。「不動産の使用料等の支払調書」に記載するデータを明細入力できます。

※明細入力するかどうかは「会社基本情報の登録」で設定できます。

- ・「不動産の使用料等の支払」で入力した内容を月次管理するため「不動産の使用料等の月次支払一覧表」処理を新規追加しました。
- ・「会計連動」で「不動産の使用料等の支払」で登録した明細を連動できるようになりました。
- ・「銀行振込依頼書」で「不動産の使用料等の支払」で登録した明細を基に振込データを作成できるようになりました。

## ◇ 「前準備」－「支払区分の登録」

「不動産の使用料等」に関する支払区分をマスター化しました。

これに伴い「支払区分の登録（非居住者）」を廃止し、「支払区分の登録」で報酬等、不動産の使用料等、非居住者等の給与等の各支払区分を登録できるようになりました。

※リビジョン 6.05 にアップデートすると、「不動産の使用料等の支払調書」で登録済みの内容をマスターとしてコンバートします。選択肢として用意している項目をコード 101～104 にコンバートします。直接入力した支払区分は、使用頻度の高い順にコード 105 以降にコンバートします。

## ◇ 「電子申告」－「国税電子申告」

e-Tax 機能改善（令和 4 年 3 月、5 月）に対応しました。

## 互換性に関する変更点

### ◇ データ領域の更新について

下記のデータ構造を追加・拡張したため、データ領域のバージョンを「2.21」に更新します。

- ・会社基本情報
- ・支払区分（不動産の使用料等）
- ・受給者（不動産等）
- ・不動産の使用料等の支払
- ・会計連動設定
- ・連動コード設定（不動産の使用料等の支払）

## ◇汎用データの変更について

会社基本情報 のデータ構造を拡張したため、バージョンを「5」に更新します。

・不動産の使用料等の支払 入力設定 ～ 不動産の使用料等の支払 支払調書の集計方法 を追加  
支払区分 を 支払区分（報酬等） に変更します。

支払区分（不動産の使用料等） を追加します。

受給者情報（不動産等） のデータ構造を拡張したため、バージョンを「4」に更新します。

・支払区分 ～ 顧客コード2、識別区分 ～ EDI 情報 を追加

不動産の使用料等の支払 を追加します。

不動産の使用料等の支払調書 のデータ構造を拡張したため、バージョンを「4」に更新します。

・区分コード を追加

・区分 を 区分名 に変更